

市民生活部環境政策課

1 米子市環境審議会の開催

米子市の環境の保全及び創造に関して基本的な事項を調査審議するため、米子市環境基本条例第19条に基づき審議会を開催した。令和7年度は、第2次米子市環境基本計画の見直しを実施した。また令和7年12月21日付で米子市環境審議会委員の改選を行った。

	開催日	審議事項
(諮問) 第1回	令和7年 5月19日	・「第2次米子市環境基本計画中間見直し」について（諮問） ・環境基本計画見直しスケジュールについて（報告） ・市民アンケートおよび事業者アンケート速報について（報告） ・第2次米子市環境基本計画原案審議（協議）
第2回※	令和7年 8月27日	・第2次米子市環境基本計画原案審議（協議）
第3回	令和7年11月21日	・パブリックコメント等実施報告（報告）
(答申)	令和7年12月17日	・「第2次米子市環境基本計画中間見直し」について（答申）
第4回	令和8年 2月12日	・委嘱状交付 ・会長・副会長選任 ・自然共生サイト申請状況報告（報告）

※第2回審議会は欠席者多数で不成立となったが、出席者による議論・方向性確認の後、全委員への書面表決を経て正式に決議された。

2 環境施策の周知・啓発の取組

(1) 啓発リーフレットによる環境学習

クリーンセンターにおける環境学習等において、学習教材として活用するため、分かり易くまとめた小学生向けのリーフレットを配布し、環境基本計画の周知啓発を行った。

(2) 中学生・高校生との連携事業

ア 米子市の環境をより多くの人に知っていただくためのPRの取組を次世代を担う中学生・高校生との協働により実施した。

- ・環境白書の表紙デザインを作成（高校生）
- ・加茂川一斉清掃啓発チラシのデザインを作成（高校生）
- ・犬の適正飼養に関する啓発ポスターのデザインを作成（中学生・高校生）

イ 応募のあったデザインを紹介する作品展を米子市役所本庁舎、ふれあいの里で実施した。

ウ 「環境」をテーマに総合的学習に取り組んだ米子市立東山中学校の生徒が作成した成果報告動画を当該のYouTubeチャンネルで紹介した。

(3) 親子LED学び講座

本市における環境意識普及啓発事業の一環としてパナソニック株式会社エレクトリックワークス社が主催する出前講座を活用し、米子市内の小学校4～6年生とその保護者を対象に、LEDの仕組みを学びながらLED・太陽光パネル・蓄電池を使ってオリジナルランタンを作成する講座を開催した。

参加者 20組

3 脱炭素社会実現に向けた取組

(1) 脱炭素先行地域づくり事業

環境省が募集する第1回脱炭素先行地域において、境港市、ローカルエナジー（株）、（株）山陰合同銀行と共同提案を行った結果、令和4年4月に脱炭素先行地域に選定され、令和12年度までに脱炭素先行地域に指定した公共施設等における電気使用に伴うCO₂排出量を実質ゼロとするための取組を行っている。

ア 米子市・境港市脱炭素先行地域推進協議会（会長：米子市副市長）3回開催

本事業の共同提案者4者で設立し、各事業の審議・協議を行うとともに、全体事業の進捗管理を行った。

また、米子市・境港市脱炭素先行地域推進協議会の下部組織として、8つの分科会を設置し、各事業の実施に関して検討し、協議会に議案を諮った。

イ 各事業の主な実施状況

(ア) 再エネ供給事業

米子市内の公共施設（2施設）に対して、自己託送により、米子市クリーンセンターで発電した再エネ電力の供給を行った。

- ・内浜処理場
- ・皆生処理場

(イ) 太陽光発電PPA事業（公共施設）

米子市内の公共施設（1施設）に太陽光発電設備を設置した（電力の供給は、令和8年4月1日から開始済）。

- ・淀江浄化センター

(ロ) 太陽光発電PPA事業（荒廃農地等）

弓ヶ浜半島に点在する荒廃農地に太陽光発電設備を設置した（電力の供給は、令和8年5月1日から順次開始済）。

- ・GE 米子市大崎六ツ割南中道西高圧太陽光発電所
- ・GE 米子市大崎三拾間割灘高圧太陽光発電所
- ・GE 米子市大崎境中道西灘高圧第1太陽光発電所
- ・GE 米子市大篠津町高圧太陽光発電所
- ・GE 米子市大崎六ツ割第2太陽光発電所
- ・GE 米子市大崎六ツ割第3太陽光発電所
- ・GE 米子市大崎六ツ割第4太陽光発電所
- ・GE 米子市葭津中川灘第1太陽光発電所
- ・GE 米子市葭津中川灘第2太陽光発電所
- ・GE 米子市葭津正門通太陽光発電所

(ハ) 太陽光発電PPA事業（上下水道局）

米子市上下水道局（車尾水源地及び戸上水源地）に太陽光発電設備及び蓄電池設備を設置した（電力の供給は、令和8年7月1日から順次開始済）。

(ニ) データプラットフォーム事業

各公共施設の電力使用量及びCO₂排出量等を管理するためのシステムを構築した。

(2) 米子市脱炭素社会実現推進委員会

副市長を委員長、市民生活部長を副委員長、各部局長を委員とし、脱炭素先行地域づくり事業及び「ゼロカーボン米子市役所アクションプラン」の進捗管理、「第2次ゼロカーボン米子市役所アクションプラン」の策定を行った。

第1回 令和7年11月13日開催（書面審議）

第2回 令和8年2月12日開催（書面審議）

ア ゼロカーボンシティよなごアクションプランに基づく取組

市域の脱炭素化の取組を推進するため、ホームページ、YouTube を用いて周知・啓発を行うとともに、各取組の進捗管理を行った。

イ ゼロカーボン米子市役所アクションプランに基づく取組

米子市が実施する事務事業に対し、個々の職員の意識が高まるよう、庁内LAN掲示板による周知・啓発を行う等、業務改善、省エネルギー化及び省資源化の取組を推進するとともに、各取組の進捗管理を行った。

4 ラムサール条約登録湿地「中海」の環境保全

平成17年11月の中海のラムサール条約登録以降、官民一体となった環境保全活動を実施している。

(1) 中海アダプトプログラムへの支援

アダプトプログラムとは、市民団体や個人が公共のスペースを分担して、自分の子どものように面倒をみるという、市民と自治体が協働して進める新しいまちの美化活動である。中海アダプトプログラムには、令和8年3月現在で61団体の登録があり、本市も参加するとともに、ゴミ袋の支給、回収ゴミの処分、広報活動の支援を行い、市民と行政のパートナーシップのもとで環境美化を進めた。

(2) ラムサール条約登録湿地 中海・宍道湖一斉清掃の実施

中海・宍道湖がラムサール条約に登録されたことを記念し、中海等のすばらしさや大切さを再認識してもらうために、中海・宍道湖沿岸5市で連携し一斉清掃活動を実施した。なお、令和7年度は、全体の開始式についても本市で行った。

実施日 6月8日（日）

実施場所 湊山公園周辺護岸

参加者人数 1,344人

ゴミ収集量 約4.7トン

(3) 中海体験クルージング・中海環境フェア in よなごの実施

NPO法人中海再生プロジェクト、鳥取県、米子市の共催で、市民向け環境啓発イベントを実施した。

実施日 8月23日（土）

実施場所 米子港・米子食品会館

参加者人数 380人

5 公害防止対策

(1) 大気汚染

ア PM2.5などの大気汚染物質に関する注意喚起

環境基準物質などの測定を実施している鳥取県から提供される注意情報などを、市ホームページに掲載するとともに、関係部局等を通じ、市民への周知を図った。

なお、令和7年度中に注意情報及び警戒情報の発令はなかった。

注意喚起回数 0回

イ 野外における廃棄物焼却に関する指導

鳥取県等と連携し、広報や指導を行った。

指導回数 9回

(2) 水質汚濁

ア 公共用水域の水質監視

水質状況を把握するための調査を実施した。

(ア) 河川

調 査 河 川 新加茂川、法勝寺川、小松谷川、大沢川 以上 4 河川

調査箇所数 5 地点

総 検 体 数 2 0 検体

(イ) 中海

調査地点 湖底：中央ポンプ場付近、新加茂川河口付近、米子湾中央、錦海

調査回数 湖底：4 回（5 月、7 月、8 月、1 2 月）

イ 油類等流出事故対応

事故発生時、関係機関へ速やかに情報を伝達するとともに、発生源の調査及びオイルマット等による拡散防止を図った。

対応件数 1 件

ウ 事業場排水指導

鳥取県等と連携し、事業場排水の改善について指導した。

指導件数 2 件

エ 国要望活動

国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所に対し、「中海浄化事業の推進について」要望書を手交した。

(3) 騒音

ア 騒音規制法に基づく届出受理

(ア) 特定施設に関するもの（設置届、変更届等を含む。）

受理数 8 件

(イ) 特定建設作業に関するもの

受理数 1 4 件

イ 県公害防止条例に基づく届出受理

騒音関係特定施設に関するもの（設置届、変更届等を含む。）

受理数 4 件

ウ 事業場立ち入り指導 2 件

(4) 振動

ア 振動規制法に基づく届出受理

(ア) 特定施設に関するもの（設置届、変更届等を含む。）

受理数 7 件

(イ) 特定建設作業に関するもの

受理数 7 件

イ 事業場立ち入り指導 0 件

(5) 悪臭

事業場立ち入り指導 3 件

6 環境放射線モニタリング関係

鳥取県が設置した島根原発U P Z 3 0 k m圏内の放射線監視局の測定データ等を本庁舎一階のモニター画面及び米子市ホームページにより住民へ情報提供した。

7 分析測定業務

(1) 水質試験

河川 2 0 検体

(2) 騒音測定

ア 環境騒音測定 7 地点

イ 自動車騒音常時監視業務

騒音規制法第 1 8 条第 1 項の規定に基づき、環境基準適合状況を面的に評価するために実施した。

(ア) 騒音測定実施区間 7 区間

(イ) 面的評価区間数 1 2 0 区間

(ウ) 面的評価区間延長 1 6 0 . 7 k m

ウ 他課からの依頼試験の実施

王子製紙関係 2 地点 延べ 8 回

エ 他課調査協力 延べ 2 回

オ 苦情等に伴う測定 0 回

(3) 振動測定

ア 他課からの依頼試験の実施 1 回

イ 苦情に伴う測定 0 回

(4) 臭気測定

苦情に伴う測定 1 地点 延べ 2 回

8 公害等相談対応

相談の対応状況（主な相談内容）

公害等の種類	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭	廃棄物投棄	動物	その他	合計
対応件数(件)	2	12	0	37	2	0	22	0	11	14	100

※現地調査等含む対応件数。（問合せのみを除く）

9 ヌカカ被害軽減対策

(1) 被害予防に係る啓発及び注意喚起

ア 広報よなご、市ホームページ及び YouTube による広報を実施

イ 弓浜地区の小学校、保育所及び幼稚園に啓発文書及びポスターを配布

(2) 発生抑制対策

モデル事業の結果を踏まえ、令和 4 年度から弓浜地区全域及びその隣接地区を対象に、ヌカカ発生抑制対

策費用補助事業（住宅地周辺の荒廃農地において、石灰散布、耕うん及び除草作業を行う自治会又は土地所有者に対する補助事業）を本格実施した。また、引き続き、事業ニーズの把握及び駆除作業効果の検証試験を実施した。

- ア 対象地区 弓浜地区（彦名町、夜見町、富益町、大崎、葭津、大篠津町、和田町）
隣接地区（安倍、両三柳、河崎）
- イ 補助事業者 自治会、土地所有者又は管理者
- ウ 実施面積 約24.9ヘクタール
- エ 調査研究 発生状況の調査、異なる様態の荒廃農地における幼虫生息調査（委託先：米子工業高等専門学校）

(3) 石灰散布作業におけるドローン活用を本格導入

地域で継続して発生抑制対策事業を実施していくためには、作業負担の軽減や安全性の向上を図ることが重要である。令和4年度の実証試験において、石灰散布作業におけるドローン活用の安全性及び経済性等を検証した結果、実施可能で有効な石灰散布方法であると判断し、令和5年度から事業案内の際に、作業方法の一つとしてドローン活用を提案した。

- ア 活用自治会 15自治会
- イ 実施面積 約14.0ヘクタール

10 主な環境保全事業

(1) 米子市環境美化活動奨励

環境美化活動の高揚を図るため、地域の環境美化に功労のあった3団体及び個人3名に対し感謝状を贈呈した。

- 期日・場所 11月19日（水） 米子市役所本庁舎401会議室
- 対象者 団体 尚徳更生保護女性会 米子瓦斯株式会社 鳥取県立米子南高等学校家庭クラブ
個人 井澤 裕子 渡邊 浩一 松尾 玉代

(2) 環境美化促進月間

- ア 期間 9月1日～10月31日
- イ 清掃活動
加茂川一斉清掃 実施日 10月26日（日）

(3) なかうみ環境学習事業

市内の小学校が米子水鳥公園及び米子水鳥公園ネイチャーセンターで行う中海環境学習に係る交通費を補助することで、中海についての学習機会の確保を図った。

- 実施校数 20校
- 参加児童数 966人

(4) シーサイドクリーンアップ弓ヶ浜2025

境港市と共催で開催し、境港公共マリーナ周辺海浜の清掃作業を行った。また、ワークショップとしてLEDランタンづくりを行った。

- 実施日 10月26日（日）
- 参加人数 清掃252人、ワークショップ24組
- ごみ収集量 620キログラム

1 1 環境美化推進団体の育成

加茂川を美しくする運動連絡協議会

(1) 構成員 25人(4自治連合会、22自治会、1婦人会)※兼務あり

(2) 主な活動内容

ア 加茂川一斉清掃(春秋 年2回)

イ 花壇整備 つつじ補植

ウ 代表者研修会の開催

1 2 地球温暖化防止対策事業

(1) 米子水鳥公園で使用する電力

環境保全意識の向上に資する取組として、「トラッキング付非化石証書」を使用し、CO₂排出量ゼロの電力として米子市クリーンセンターの廃棄物発電由来の電力を米子水鳥公園へ供給した。

(2) 周知啓発事業

ホームページに地球温暖化防止対策の取組についての情報を掲載し、周知啓発を行った。

(3) エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(改正省エネ法)関係

市有施設の年間のエネルギー使用量(原油換算値)が1,500キロリットル以上であることから、平成22年度に省エネ法に基づく特定事業者指定され、同年からエネルギー使用量を国へ報告している。

ア 令和6年度エネルギー使用量(原油換算値)

市長部局 5,166キロリットル

教育委員会部局 1,806キロリットル

水道局 1,635キロリットル

イ 令和7年7月 定期報告書及び中長期計画書を経済産業省及び所管省庁へ提出した。

(4) 鳥取県地球温暖化対策条例関係

鳥取県地球温暖化対策条例に基づき、温室効果ガス排出量の目標、目標達成のための取組を含む「取組計画(3年分)」の提出及び計画達成状況を平成22年から県へ報告している。

ア 令和6年度 温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)

市長部局 11,285トン

温室効果ガス排出量算定に用いた調整後排出係数は、中国電力㈱は0.520トン-CO₂/千キロワットアワー及びローカルエナジー㈱は0.539トン-CO₂/千キロワットアワーを使用。

イ 令和7年7月 事業者達成状況報告書を鳥取県へ提出した。

1 3 米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンターの管理運営

市民と自然とのふれあいの場及び市民の環境学習の場の提供を目的として、平成7年10月22日から本施設を供用開始している。一般市民を対象とした自然観察会や自然教室、夏休みを利用した子ども講座などの各種普及啓発事業を実施した。

(1) 施設管理委託先

ア 指定管理者 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団

イ 指定管理料 52,093,000円

(ネイチャーセンター入館者実績)

(人)

月 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
人 数	1,052	1,450	1,275	848	1,618	1,248
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
2,027	2,760	1,612	1,630	1,800	1,409	18,729

(2) 米子水鳥公園内の水質検査

ア 調査項目 全窒素、溶存酸素等6項目

イ 調査回数 年3回

ウ 調査箇所 つばさ池ほか／3地点

(3) つばさ池の水質調査及び水質改善策研究

同公園の根幹をなす「つばさ池」の水質改善のため、懸濁物質やCOD等を多角的に検査するとともに、つばさ池の水深や周辺環境等を調査の上、適切な水質浄化策の実施及び研究について専門機関である米子工業高等専門学校に委託した。

(4) 中海の水環境保全に資する環境教育及び普及啓発業務

ラムサール条約登録湿地の美しい中海の自然環境を次代に引き継ぐため、地域に暮らす人たちが自然に愛着を持ち、環境保全活動について意欲を深めるとともに、自ら考え、専門的な知識をもった環境保全活動をリードする人材を育成することを目的とし、成長段階に合わせた3段階の学びの場(導入部分・応用編・実践編)において継続的に環境教育及び普及啓発を実施した。

ア 委託先 公益財団法人中海水鳥国際交流基金財団

イ 事業の内容

	名称及び内容	実施時期	実施場所	実施状況
導入部分	①自然観察会(本事業に係るもの)	通年	米子水鳥公園及びその周辺	実施回数：3回 参加者延べ数：41名
	②工作や調理等の体験講座(本事業に係るもの)	通年	米子水鳥公園及びその周辺	実施回数：5回 参加者延べ数：81名
	③こどもエコクラブ	5～12月	米子水鳥公園及びその周辺	実施回数：4回 参加者延べ数：51名
	④子どもラムサールクラブ(本事業に係るもの)	5～2月	米子水鳥公園及びその周辺	実施回数：5回 参加者延べ数：173名
	⑤Jr. レンジャークラブ(本事業に係るもの)	9～2月	米子水鳥公園及びその周辺	実施回数：3回 参加者延べ数：12名
	⑥外部公共施設での生き物紹介展示の開催	1～3月	米子市児童文化センター	実施回数：1回(展示更新3回) 来館者延べ数：34,822名
	⑦ラムサール20周年記念パネルの制作	8月	米子水鳥公園	制作数：5枚組A2パネル×2セット

応用編	名称及び内容	実施時期	実施場所	実施状況
	①植生調査	4～9月	米子水鳥公園及び栗島神社社叢	実施回数：2回 参加者延べ数：7名
	②生物調査(植物以外)	通年	米子水鳥公園及びその周辺	実施回数：13回 参加者延べ数：235名
	③標本講座	通年	米子水鳥公園	実施回数：5回 参加者延べ数：37名
	④新規標本作成	通年	米子水鳥公園及びその周辺	新規標本：112点
実践編	①研究発表会	11月	米子水鳥公園及びその周辺	実施回数：1回 参加者(発表者)延べ数：7名
	②生物調査やイベントの企画・実施	通年	米子水鳥公園及びその周辺	実施回数：7回 参加者延べ数：7名
	③図鑑の執筆や標本を用いた展示物の作成	通年	米子水鳥公園及びその周辺	参加者延べ数：13名

(5) 米子水鳥公園開園30周年記念式典

米子水鳥公園開園30周年を記念し、式典を開催。感謝状の贈呈や園児による発表等を実施した。併せて、記念グッズとして缶バッジ及びボールペンを作成し、来館者へ配布した。

ア 実施日 令和7年10月22日(水)

イ 実施場所 米子水鳥公園ネイチャーセンター 視聴覚室

ウ 参加人数 50人

(6) 米子水鳥公園の自然共生サイト認定

令和8年3月17日に米子水鳥公園が、地域生物多様性増進法に基づく「自然共生サイト」に認定された。これに伴い、令和8年3月26日に米子水鳥公園において、自然共生サイト認定証授与式が行われた。

ア 計画名称 米子水鳥公園保全活動実施計画

イ 計画期間 令和8年3月～令和13年3月

ウ 代表申請者 米子市

エ 連携活動実施者 中海水鳥国際交流基金財団

1.4 米子市市有施設の屋根貸しによる太陽光発電普及事業

自然エネルギーの利用促進、民間活力を活かした公共施設への太陽光発電設備の効率的な整備、災害等の停電時における非常用電源としての活用及び環境やエネルギーに対する市民意識の向上を目的として、米子市市有施設の屋根貸しによる太陽光発電普及事業を平成25年度(第1回)及び平成27年度(第2回)に実施しており、8施設で稼働している。

事業者	対象施設
中海テレビ放送(株)	車尾小学校、加茂中学校、大高公民館、湊山中学校
ミヨシ産業(株)	東山中学校
東洋ソーラー(株)	尚徳中学校、市立図書館

事業者	対象施設
ワンプライム. (株)	福生西小学校

1 5 動物愛護管理に関する取組

(1) 人と動物が共に生きていける社会の実現

動物愛護の精神とモラルやマナーなど適正な飼養について、周知啓発を行った。また、市報、ホームページやYouTube 等において、ペットの飼い主の責任などについて広報を実施した。

(2) のら猫に関するリーフレットの作成

のら猫が増えることによるトラブルや補助金に関する案内を周知、啓発を行うためのリーフレットを作成した。

1 6 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用助成事業

飼い主のいない猫の繁殖を抑制し、生活環境の保全、動物愛護意識の高揚を目的として、市内で捕獲した飼い主のいない猫に不妊去勢手術を受けさせた者に対して、手術に要する額（1 頭につき上限 1 万円）を助成した。

実施頭数	補助金額（円）
301	2,386,300

1 7 犬の登録及び狂犬病予防注射事業

狂犬病予防法に基づく犬の登録及び狂犬病予防注射済票の交付を行った。また、県西部地区内指定獣医師の協力を得て市内 10 会場で集合注射を実施した。

【犬の登録及び狂犬病予防注射済票交付状況】 (頭)

新規登録	登録抹消	登録総数(A)	注射済票 交付総数(B)	(交付内訳)		接種率 (B/A)
				集合注射	個別注射	
720 (うち MC※593)	416	6,134	4,962	234	4,728	80.9 %

※MC:マイクロチップ